

AtoZ

国内カップ戦 コパ・ド・ブラジル とは?

ヨーロッパで言う国内カップ戦に相当するが、このコパ・ド・ブラジルは、いわゆるブラジルにおける国内カップのことで、その歴史はまだ浅く、第一回大会が行われたのは1989年のことだった。かつてブラジルでは、全国選手権がスタートする前まで、このコパ・ド・ブラジルの前身とも言うべきカップ戦「タッサ・ド・ブラジル」という大会があった。この

「タッサ・ド・ブラジル」で優勝したチームが、次に紹介するコパ・リベルタドーレスへの出場権が与えられていたのだ。ただ、ブラジル全国選手権が1971年にスタートしたことで、この大会は廃止となってしまった(1967年から70年までは「タッサ・デ・プラタ」という名称の大会が代わりに行われた)。しかし小さい地方クラブからの参加要求が高まったことで、1989年にカップ戦が復活。それが、この「コパ・ド・ブラジル」というわけだ。
なお、このコパ・ド・ブラジルの優勝チームには、翌年のコパ・リベルタドーレス出場権が与えられている。

AtoZ

各クラブが 最重視する 「コパ・リベルタ ドーレス」

南米サッカーのクラブシーンで最も重要なタイトルとされているのが、南米クラブチャンピオン決定戦である。ご存知「コパ・リベルタドーレス」だ。特に近年はヨーロッパのチャンピオンズリーグの影響も

あって、各クラブはこのタイトルを獲得するために躍起になっている。
現在、ブラジルでコパ・リベルタドーレス出場権が与えられるのは全国選手権上位3チームとコパ・ド・ブラジル優勝チームの計4チーム。また全国選手権4位チームは予選リーグからの参加となる。仮に今年コパ・リベルタドーレスでブラジルのチームが優勝した場合、全国選手権3位と4位が翌年の予選リーグに参加する。

コパ・ド・ブラジル歴代優勝チーム	
1989	グレミオ (RS)
1990	フラメンゴ (RJ)
1991	クリシウマ (SC)
1992	インテルナシオナル (RS)
1993	クルゼイロ (MG)
1994	グレミオ (RS)
1995	コリンチャンス (SP)
1996	クルゼイロ (MG)
1997	グレミオ (RS)
1998	パルメイラス (SP)
1999	ジュヴェントゥージ (RS)
2000	クルゼイロ (MG)
2001	グレミオ (RS)
2002	コリンチャンス (SP)
2003	クルゼイロ (MG)
2004	サント・アンドレ (SP)
2005	バウリスタ (SP)

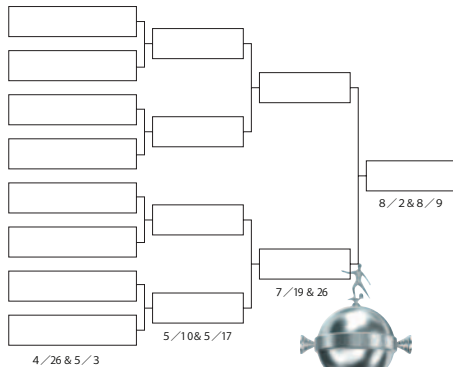


2006 COPA LIBERTADORES

グループリーグ

GROUP1	GROUP2
サンパウロ (ブラジル) シエンターノ (パラグアイ) カラカス (ヴェネズエラ) 予選勝者D	ボリーヴァル (ボリビア) エストゥディアンテス (アルゼンチン) 5・クリスタル (ペルー) 予選勝者B
GROUP3	GROUP4
ザ・ストロングスト (ボリビア) ニューウェルズ (アルゼンチン) U・エス・パネーラ (チリ) 予選勝者F	コリンチャンス (ブラジル) D・カリ (コロンビア) U・カトリカ (チリ) テグレシオ (メキシコ)
GROUP5	GROUP6
ロジャ (ウルグアイ) LDU (エクアドル) ウェレス (アルゼンチン) 予選勝者A	インテルナシオナル (ブラジル) ナシオナル (ウルグアイ) アース (メキシコ) A・マラカイボ (ヴェネズエラ)
GROUP7	GROUP8
A・ナシオナル (コロンビア) ロサリオ (アルゼンチン) セロ (パラグアイ) 予選勝者E	エル・ナシオナル (エクアドル) バウリスタ (ブラジル) リベルタ (パラグアイ) 予選勝者C

決勝トーナメント



AtoZ

ブラジル国内で 活躍する 外国人スター選手は いるのか?

ブラジルが世界最大の選手輸出国であることはよく知られている。では、ブラジルで活躍する外国人選手というのはどれくらい存在するのだろうか? 答えは「ほとんどない」だ。将来有望な若手選手が次々と現れるブラジルサッカーだけに、それも当然と言えば当然の話ではある。
しかしその中で、わずかながら外国人選手も存在している。過去、ウルグアイ

AtoZ

ブラジルの名門 クラブとは一体 どのクラブなのか?

ブラジル国内には星の数ほどのサッカークラブが存在するが、その中でも国際レベルでも人気と実力を誇る有力クラブの数は絞られる。その主な有力クラブが、右に挙げた11クラブだ。
ブラジル国内で最も人気を博すのが、かつてジーコが所属したチーム、リオの名門フラメンゴだ。ジーコがプレーした全盛期には、トヨタカップ優勝も経験している世界的なクラブの一つだ。その他、サンパウロの人気チーム、コリンチャンス、パルメイラス、サンパウロをはじめ、クルゼイロやグレミオも世界的に有名なクラブだ。



AtoZ

ブラジルでは 各ポジションに 特別な呼び名が ついている

日本でそうだが、通常、サッカーはGK、DF、MF、FWといった名称が各ポジションの呼び名だが、サッカー王国ブラジルでは、各ポジションにそれぞれの呼び名が存在する。それが以下に挙げた呼び名だ。この他にも色々な呼び名があり、つまり、その呼び名によって、ポジションの役割を認識させるという意味もある。
■ゴールキーパー=ゴレイロ、■センターバック=ザゲイロ(システムによってはアラト・ザゲイロもある)、■MFの底=ボランテ、■MF=メイアドール、■攻撃的MF=ボンタ・ジ・ランサ、■FW=アタカンテ、■右ウイング(右)ボンタ・ジレット(ボンタ・エスケルタ)など。

AtoZ

ブラジル 国内にある スタジアム 事情は?

ブラジルでは、各クラブが専用のホームスタジアムを所有して、そこで公式戦を行うといったことはほとんどない。これは主に経済事情が絡んでいるのだが、基本的には公共のスタジアムを使いまわすことが多いのだ。
世界的にも有名で、サッカーの聖地とも書かれるリオ・デ・ジャネイロのマラカ



国内最大規模を誇るリオのマラカナン・スタジアム。



Photo by Claudio Reiras

人で70年代に活躍したペドロ・ロッシヤ(元京都パープルサンガ監督)、バラグアイ人と同じく70年代から80年代にかけてプレーしたロメリット、あるいは同じ時代にはウルグアイ人のダリオ・ペレイラがそれだ。また90年代にはアルゼンチン代表でもあったマンクソもいた。
現在は、フルミネンセのペトコヴッチ(旧ユゴ)やサンパウロのルガノ(ウルグアイ)がプレーしている。しかし、中でも圧倒的な人気を誇り、ブラジルで一大旋風を巻き起こしているのが、昨年の全国選手権優勝の立役者、アルゼンチン代表デウヴェス(コリンチャンス)である。



サンパウロの名物スタジアム、モルンビー。

TOPIC 1 ●なかなか固定されない南米版UEFAカップ

ヨーロッパのUEFAカップに相当する大会が、南米にも存在する。それが「コパ・スダメリカーナ」だ。コパ・スダメリカーナは、基本的に各国のコパ・リベルタドーレスに出場できなかった上位チームが参加する南米国際大会で、スタートしたのは2002年と比較的新しい。

以前はコパ・コンメボル(1992年から1999年)がこのレベルに相当する大会だったが、それが諸々の事情で消滅。また、コパ・メルコノルテ、コパ・メルコスールといった大会が1998年から2001年に行われたが、これも自然消滅した。このあたりの混乱ぶりは南米らしい話だと言える。